阿賀野川えとこだプロジェクト × 阿賀野川エコミュージアム → あがのがわ環境学習ツアー & グリーン&ネットショップ 阿賀の宝もんがたり

新潟県

第32号
2021.3.15

阿賀野川 え～とこだより
aganogawa E-toko dayori

「五泉の水芭蕉」（五泉市菅出・水芭蕉公園）

もくじ

特集1　令和2年度パネル作品紹介＆ヴァーチャル（仮想）展示会開催　2
特集2　YouTube（ユーチューブ）風新潟水俣病学習用の映像作品を公開　4
特集3　阿賀の宝もん★発掘レポート（第7回）・新潟県立環境と人間のふれあい館　6
令和2年度ロバダン開催レポート　7
インフォメーション　8

コロナ後の社会を踏まえて変化していく機会に

地域再生の取組のデジタル化へ これまで以上に注力するために

今年度は新型コロナウイルスの影響で、それ以前は誰もが当たり前に行っていた移動や交流が著しく制限されるなど、私たちが暮らす社会のありようが一変した激動の一年でした。今後、ワクチンの普及などで新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いても、以前と同じように移動し交流できる社会に、完全には戻らない可能性が十分にあります。

そうした変容しつつある社会を前提として、公害の光と影を含む阿賀野川流域の地域再生を目指すFM事業（※1）も、ある程度の変化を遂げる必要があると痛感した一年でした。おそらく令和3年度は、バスツアーやイベントの催行を元に戻す努力だけでなく、これまで以上に地域再生の取組をデジタル化していく必要性が高まってくるでしょう。

それがICT（※2）を活用した授業なのか、流域外とのリモート交流なのか、流域の光と影を伝える動画配信なのか、デジタル化の手段はさまざまですが、まず今年度は足元の「もやい直し」（※3）の土台から強化すべく、今号で特集したリモートパネル展の発信や新たなデジタル教育ツールの制作に挑戦しました。

※1「阿賀野川え～とこだプロジェクト」のこと。詳細はP. 8参照。　※2「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略
※3水俣病で壊れた地域の人と人の絆、人と自然との関係を再びつむぎ直すこと。

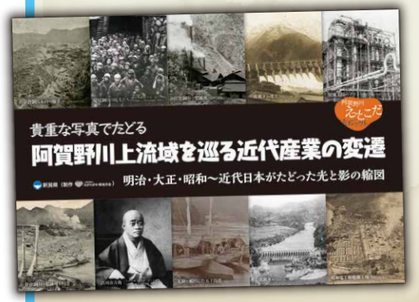
この情報誌は環境省の補助を受けて新潟県が発行しています。

新潟県立環境と人間のふれあい館 パネル展情報

令和3（2021）年度は ふれあい館開館20周年

開館20周年事業 第❶弾

※今後、新型コロナウイルスの感染状況によっては、予定が変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承願います。



展示期間
4/3（土）～4/24（土）
9:30～16:30
※月曜日は休館日です。

展示場所
環境と人間のふれあい館

入場・観覧無料

阿賀野川上流域に栄えた近代産業の光と影を描いたパネル展

明治期に栄えた草倉銅山、大正期に栄えた持倉銅山、昭和初期に操業開始した鹿瀬ダムと昭和電工㈱鹿瀬工場の光と影の軌跡を紹介。

展示期間
4/29（木）～5/30（日）
9:30～16:30
※月曜日は休館日です。月曜日が祝日の場合、祝日明けの平日が休館日です。

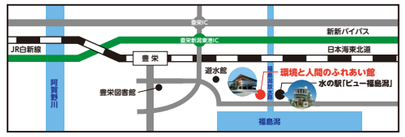
展示場所
環境と人間のふれあい館

開館20周年記念事業として、新潟水俣病学習の拠点施設としての活動を、パネル写真で振り返ります。

※パネル展等の詳細は、今後、ホームページでお知らせします。

新潟県立環境と人間のふれあい館
- 新潟水俣病資料館 -

お問合せ
住所　新潟市北区前新田字新々囲乙 364-7
TEL 025-387-1450 ／ FAX 025-387-1451
メール　fureai@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ URL　http://www.fureaikan.net/



環境と人間のふれあい館のキッズクラブに入りませんか？

★対象は小学生以下の児童★

環境と人間のふれあい館キッズクラブでは、子どもたちがふれあい館に親しんで、楽しみながら環境の大切さにふれることをめざします。

令和3年度 下記教室も開催予定！
「県立愛鳥センター紫雲寺さえずりの里」職員が講師です。

- 6月下旬　消しゴムハンコづくり教室　対象：5年生以上
- 1月上旬　野鳥の羽しおりづくり教室　対象：4年生以下

内容・特典　当館のかわいいマスコットが入った会員証を発行！
1. オリジナル缶バッジさしあげます！
2. 誕生月にバースディカード送ります★
3. 工作教室などイベント情報お知らせ♪

入会　左記お問合せ先までご連絡いただくか、QRコードをご覧ください！

「阿賀野川え～とこだプロジェクト」とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」（略称FM事業）と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川え～とこだ！憲章（事業理念）

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。　（阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会）

編集後記

第32号はいかがでしたでしょうか？

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、例年開催していた様々なイベントを実施できずに終わってしまいました。その代わり、ネットを活用した取組に着手して、新たな展開の道筋をつけることができました。来年度こそ、新型コロナウイルスの影響を乗り越えて、今以上に様々な試みにチャレンジできるよう願っています（次号10月発行予定）。

今号表紙の写真「五泉の水芭蕉」

五泉市菅出にある水芭蕉公園で、3月末頃に撮影した一枚です。水芭蕉があたり一面に開花して、本当にきれいでした。これから五泉市を中心に、阿賀野川流域で様々な花々の開花を楽しむことができる季節ですね。

阿賀野川え～とこだより 第32号
発行：新潟県（※環境省補助事業）　発行日：2021年3月15日
企画編集：一般社団法人あがのがわ環境学舎（〒959-2221 阿賀野市保田3866-1）
TEL.&FAX. 0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川え～とこだ!流域通信
https://aganogawa.info/